

1 文化財活用事例

三角旧港（三角西港）・龍驤館 葺替瓦への名入れ 宇城市

（世界文化遺産）
明治日本の産業革命遺産
（国登録有形文化財）
龍驤館
（国重要文化的景観）
三角浦の文化的景観



大正7年に建てられた建造物の耐震補強工事にあわせ、地元小学校の児童たちが工事で交換される瓦の裏に名入れする取組。工事期間中は、このほかにも普段は見ることのできない建物の構造を見学できる現地説明会が開催されました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

宇城市教育委員会文化スポーツ課

☎ 0964-32-1954

✉ bunkasports@city.uki.lg.jp

URL https://www.city.uki.kumamoto.jp/toppage/soshiki_list/2018751



（宇城市教育委員会提供）
葺替瓦へ名入れをする様子

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

－（名入れ体験のみ）
※耐震工事は別途費用発生

【財源】

－

【工夫した点／配慮した点】

- ・工事の初期段階から工事関係者に体験事業を実施する事を伝え工程を調整。
- ・全学年参加だったため、授業時間内に作業を終えられるよう市からも支援。

効果

- ・自身の名が残る文化財が将来にわたってふるさとに存在することで、誇りと郷土愛を醸成できた。
- ・行政主体の保存事業にとどまらず、地域の参画を得ることができた。

課題

- ・工期と学校授業時間の関係で実施時期の見極めが必要で、調整が難しかった。

【準備期間】

5ヶ月（企画・調整 5ヶ月、広報・周知 1ヶ月）

【実施期間】

1日（令和6年度実績）

【主な関係・連携機関】

- ・耐震工事関係請負業者・・・工事管理・施工
- ・小学校・・・授業調整、引率、事前学習など

【法令等に基づく手続き】

－

【参加費】

無料

【その他】

- ・龍驤館の耐震工事は文化庁の国宝重要文化財等防災施設整備事業を活用。

行って
みよう

三角西港・龍驤館

【駐車場】

普通車80台／大型バス2台

【料金】

（龍驤館入館）
大人 200円
小・中学生 100円
幼児 無料

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【所要時間】

30分～1時間30分程度



（宇城市教育委員会提供）

どこでも ミニ移動展示用パッケージ

熊本県博物館ネットワークセンター

(未指定文化財)
動植物資料
岩石・地質資料
民俗資料
歴史資料



展示スペースが限られた施設でも熊本県博物館ネットワークセンターの収蔵資料に触れられる小型の移動展示パッケージを作成し、貸出を行う取組。郷土玩具（民俗）や水辺の昆虫たち（動物）、甲斐有雄と石道標（歴史）、熊本県で見られる化石（地学）など14パッケージを準備しています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

熊本県博物館ネットワークセンター

〒 869-0524 宇城市松橋町豊福1695

☎ 0964-34-3301

✉ hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

URL <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

【県市町村の関わり】

主催（観光担当部局）

【予算】

約350千円

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

- ・様々なニーズに対応できるように、様々な分野のパッケージを作成するよう工夫。
- ・長机1台分のパッケージにすることで、省スペースで展示ができるようにコンパクトに作成。

効果

- ・どこにでも学びの場を提供できる。
- ・資料活用の幅が増える。

課題

- ・貸し出すセットに偏りがある。
- ・機材が少ないため、1度に2セットしか対応できない。



（熊本県博物館ネットワークセンター提供）
「お買い物いまむかし」どこでもミニ移動展示用パッケージ

貸出期間：1ヶ月程度
展示スペース：長机1台分

【準備期間】

約6ヶ月／1セット（企画・調整 3～4ヶ月、作成 1～2ヶ月）

（広報・周知通年、年度はじめに、県内の図書館、公民館、学校へパッケージリスト等を送付）

【実施期間】

通年（令和7年度から名称を「どこでもミニ移動展示用パッケージ」に変更し実施）

※令和6年度までは「図書館・公民館等移動展示用パッケージ」

【主な関係・連携機関】

・社会教育施設・社会福祉施設・学校・・・貸出先

【法令等に基づく手続き】

—

【借用料】

無料

【その他】

- ・貸出対象は、図書館・公民館等の社会教育施設及び高齢者や子ども、障がいのある方々に福祉サービスを提供する社会福祉施設及び学校です。
- ・利用者の方は、長机1台をご用意ください。
- ・パッケージの借用は、申請書を熊本県博物館ネットワークセンターホームページからダウンロードし郵送・メールで申し込んでください。



行って
みよう

熊本県博物館ネットワークセンター（パッケージ貸出元）

【駐車場】

普通車30台／大型バス 要相談

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【料金】

無料

【所要時間】

45分～1時間程度

【その他】

常設展示なし。企画展示を時期ごとに開催。開催中の企画展示情報はHPを参照。

文化財三次元データの作成・公開

熊本県文化課

(国遺跡)
陣ノ内城跡
(県重要文化財)
御大師堂・福田寺五輪塔
ほか



建造物や古墳等の三次元モデルを作成し、インターネット上のプラットフォームで公開する取組。普段は見るできない石橋の下側や石室内部を自由に閲覧できます。また、文化財三次元データの作成は災害への備えにもなっています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

熊本県教育庁教育総務局文化課

☎ 096-333-2706・2707

✉ bunka@pref.kumamoto.lg.jp

URL <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/125/>



(熊本県提供)
中山手永における石橋群・薩摩渡

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

600千円（撮影旅費別途）

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

・無料プラットフォームを活用することでシステム更新等に係る経費を削減しました。

効果

- ・市町村における三次元データ作成に対する関心度の向上。
- ・県職員の作成技術の向上。
- ・災害への備え。

課題

- ・作成した三次元データの取扱基準の検討。
- ・県市町村によるデータ作成体制の構築と作成の推進。

～主な購入機材～

- ・デジタルカメラ
- ・タブレット
- ・ノートパソコン
- ・SDカード
- ・HDD
- ・一脚
- ・三次元データ作成・編集ソフトウェア

【準備期間】

1.5ヶ月程度（依頼・調整 1ヶ月、現地作業 1日程度、三次元モデル作成 1週間）
※現地作業・三次元モデル作成期間は文化財の内容によって異なります

【実施期間】

通年（令和2年度から公開中。随時更新）

【主な関係・連携機関】

・市町村・・・三次元モデル作成依頼、作成協力

【法令等に基づく手続き】

—

のぞいてみよう

Sketchfab

【Sketchfabとは】

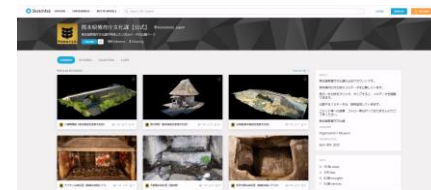
三次元モデルを公開、共有、閲覧等ができる無料のウェブサービス。



【掲載ページ】

熊本県教育庁文化課【公式】

URL ▶ <https://sketchfab.com/kumamotobunka>



Sketchfab 熊本県教育庁文化課【公式】トップ画面

【その他】

市町村において熊本県文化課による三次元計測を希望する場合は、電話又はメールで御連絡ください。

ほかにも

菊陽町 町内文化財三次元計測事業

菊陽町では、町内に所在する上津久礼眼鏡橋・井口眼鏡橋などの三次元計測を行い、指定文化財の状態管理に活用しています。今後は、作成したデータを公開し、公共に還元していくことを検討中です。

県史跡「馬場楠井手の鼻ぐり」の3Dモデルは、菊陽町文化財ツーリズムで公開中です（URL：<https://www.kikuyotsu-rizumu.jp/>）。



(菊陽町教育委員会ホームページより引用)
鼻ぐり3Dモデル

人吉あかりの社会実験

人吉市

(国宝)
青井阿蘇神社
(国史跡)
人吉城跡
(国登録)
青井阿蘇神社禊橋



将来の新たな夜景の整備に向けた「あかりの社会実験」を行う取組。令和2年7月豪雨からの復興過程でさまざまなまちのあかりづくりに取り組んできました。令和7年度は、人吉市まちなかランドデザイン推進アクションプランで描いた4エリア（文化財は2エリア）で実施。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

人吉市まちづくりデザイン会議

(事務局：人吉市役所復興支援課)

☎ 0966-22-2111

✉ fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

URL lit.link/akari_hitoyoshi

【県市町村の関わり】

主催（市復興担当部局・市文化財担当部局）

協力（県振興局）

【予算】

24,682千円

【工夫した点・配慮した点】

・常設に向けた仮の空間を作る社会実験を行い、利用者の声や近隣住民への配慮等、検証により事業性や地域のコンセンサスを確認しました。

効果

・文化財をライトアップすることで、夜の観光コンテンツとしての付加価値が確認できた。

課題

・動線上にある段差などのバリアが一部暗く、観光演出だけでなく歩行者の安全確保の必要性も確認できた。



(人吉市提供)
国史跡人吉城跡ライトアップ状況

【財源】

交付金（内閣府）・補助金（国土交通省）

【準備期間】

5ヶ月（企画・調整 4ヶ月、広報・周知 1ヶ月）

【実施期間】

4ヶ月程度（令和7年10月1日～令和8年1月18日まで）

【主な関係・連携機関】

- ・内閣府 …… 交付金交付
- ・国土交通省 …… 河川占用許可
- ・熊本県 …… 河川占用許可
- ・人吉市 …… 公園占用許可、現状変更許可
- ・文化財所有者 …… 場の提供、機材設置許可

【法令等に基づく手続き】

- ・交付金手続き（第二世代交付金・都市構造再編集集中支援事業）
- ・河川占用許可申請（河川法）
- ・公園占用許可申請（都市公園法）
- ・現状変更許可（文化財保護法）

【見学料】

無料

【その他】

・まちづくりに関する各拠点エリアの具体的な将来像や事業化検討を行うため事業者・専門家・行政によるデザイン会議を月に1回開催。あかりの社会実験では照らし方、仕様、設置場所、地域合意等を検証するために実施。

トピック

ライトアップ実施箇所

【青井阿蘇神社：厳かさに満ちた上質なあかりの重層】
国宝青井阿蘇神社の品格と歴史的価値を感じさせる神社周辺を含む夜間景観を形成。球磨川からの参道の視覚化。

【人吉城跡：夜景を眺められる城へと進化】
「川に浮かぶ城」としての石垣のライトアップを実施。夜間に城跡内を歩くのではなく、対岸から眺めて美しく見えるようにライトアップ等を構成。



(人吉市提供)

運動会で 子どもたちによる伝統芸能を披露 五木村

(村無形民俗文化財)
高野棒踊り



地元に住る民俗文化財を保存会の指導のもと小学生が伝承し、毎年運動会で披露する取組。子どもたちが地域の歴史を知るきっかけになると同時に長い間大切に守られてきた伝統芸能の継承につながっています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

高野棒踊り保存会

☎ 0966-37-2266

✉ kyouiku@itsuki.Kumamoto.jp

URL —

【区市町村の関わり】

その他（学校運営協働本部）

【予算】

—

【工夫した点・配慮した点】

・高野棒踊り保存会と小学校の協働活動の連携をとりました。



(提供：五木村教育委員会)
運動会で披露される棒踊り

【財源】

(ボランティア)

【準備期間】

1ヶ月（企画・調整・練習 1ヶ月）

【実施期間】

1日（平成15年度から継続して実施）

【主な関係・連携機関】

- ・五木村学校協働本部
- ・五木東小学校披露者

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料

【その他】

- ・運動会にむけての全体練習のなかで、指導される保存会の方とのスケジュール調整をし伝統芸能の練習を行っています。

効果

- ・地域の伝統芸能を実践することで地域の歴史を直接体感できた。
- ・地域の方との交流ができた。

課題

- ・保存会と学校との日程調整。

菊池川流域日本遺産 出前授業

玉名市・和水町・山鹿市・菊池市

(国重要文化財)
旧玉名干拓施設
(重要無形民俗文化財)
菊池の松囃子能
ほか



地域の児童生徒が日本遺産のストーリーを理解し誇りに思えるよう、学校教育と連携し日本遺産に触れる機会を提供する取組。土器や石器の実物を見て触れながら学ぶ体験型の出前授業。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

菊池川流域日本遺産協議会
文化財保存活用推進部会
令和7年度部会長 山鹿市文化課



出前授業風景 (玉名市提供)

【県市町村の関わり】

その他 (文化財担当部局・観光担当部局・農政担当部局)

【予算】

60千円

【財源】

負担金 (自治体: 玉名市・和水町・山鹿市・菊池市)
補助金 (熊本県)

【工夫した点・配慮した点】

- ・日本遺産自体だけでなく構成文化財に関係する出前授業をととして菊池川流域日本遺産を知ってもらうよう工夫。
- ・行政だけでなく民間団体とも連携して実施。

効果

・構成文化財をととして菊池川流域日本遺産を知ってもらう機会となった。

課題

・学校のカリキュラム上、新たな項目を追加しにくい、日本遺産単独では要望が少ない。

【準備期間】

3ヶ月 (企画・調整 1ヶ月、広報・周知 2ヶ月)

※玉名市の場合: 前年度2月の校長会で周知、4月以降各校から申込み受付・日程調整

【実施期間】

1コマ (平成29年度から継続して実施)

【主な関係・連携機関】

【法令等に基づく手続き】

・補助金手続き (日本遺産負担金)

【参加費】

無料

【その他】

- ・出前授業は小・中学校、高等学校を対象に実施
- ・出前授業は市町村単位で受付

玉名市: 文化課 ☎ 0968-75-1136 /✉ bunka@city.tamana.lg.jp
和水町: 社会教育課 ☎ 0968-34-3047 /✉ syakai@town.nagomi.lg.jp
山鹿市: 文化課 ☎ 0968-43-1651 /✉ bunka@city.yamaga.kumamoto.jp
菊池市: 文化課 ☎ 0968-41-7515 /✉ bunka@city.kikuchi.lg.jp

地元小学校で神楽を体験

南阿蘇村

(県重要無形民俗文化財)
長陽村長野の岩戸神楽



長野阿蘇神社に奉納される神楽を地元小学校の授業の一環として児童が体験する取組。子どもたちが地域の歴史を知るきっかけになると同時に長い間大切に守られてきた伝統芸能の継承につながっています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

実施主体：長野岩戸神楽保存会
(問合せ：南阿蘇村教育委員会)
☎ 0967-67-1602

【県市町村の関わり】

協力（文化財担当部局）

【予算】

216千円

【財源】

補助金（南阿蘇村）

【工夫した点・配慮した点】

-

効果

- ・保存会に小学生が増え、実際に令和7年の大祭で神楽を奉納している。

課題

- ・学校との調整。
- ・保存会のメンバーとの調整。



(南阿蘇西小学校提供)
体育館のステージで神楽を披露する児童たち

【準備期間】

1ヶ月（練習1ヶ月）

【実施期間】

1コマ（令和6年度実績）

【主な関係・連携機関】

- ・南阿蘇西小学校・・・体験者
- ・南阿蘇村・・・・・・補助金交付

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（社会教育振興費補助金）

【参加費】

無料

【その他】

- ・小学生たちは学習発表会で神楽を披露。

行ってみよう

長野阿蘇神社神楽殿・長野神楽の里公園（奉納場所）

【駐車場】

普通車20台／大型バス 要相談
※南阿蘇村教育委員会（0967-67-1602）まで

【料金】

奉納の観覧料：無料
(奉納は大祭で行われているため自由に見学可)
※奉納時以外の公演と神楽殿の利用は有料

【その他】

- ・長野阿蘇神社の祭り奉納は例年夏（5月）と秋（10月）の2回。定期公演なし
- ・神楽でんは有料貸出可

【トイレ】

あり（男女別）

【所要時間】

4時間（例大祭時奉納）



神楽殿
(南阿蘇村提供)

小泉八雲熊本旧居で ARおばけ体験 熊本市

(市有形文化財)
小泉八雲熊本旧居



小泉八雲熊本旧居設置のQRコードを来訪者自身のスマートフォン等で読み込みかざすと八雲直筆の妖怪が写し出されるなどのおばけ体験ができる取組。このほか、令和7年度にはお化け屋敷や謎解きなどのイベントも開催しました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

熊本市文化市民局文化創造部文化財課

☎ 096-328-2740

✉ bunkazai@city.kumamoto.lg.jp

URL <https://www.city.kumamoto.jp/list00623.html>



AR展示イメージ (熊本市提供)

【区市町村の関わり】

主催 (文化財担当部局)

【予算】

1,500千円

【財源】

第2世代交付金 (内閣官房)

【工夫した点・配慮した点】

・妖怪のデザインは小泉八雲の世界観を壊さないよう、八雲直筆の妖怪を使用。

効果

・連続テレビ小説「ばけばけ」の放送開始に合わせて開始し、多くの来館者に楽しんでもらった。

課題

・来館者から操作方法の質問が増え、旧居に常駐している館長の業務が煩雑になった。
・次年度以降ランニングコストが掛かる。

【準備期間】

5ヶ月 (企画・調整 4ヶ月、広報・周知 1ヶ月)

【実施期間】

6ヶ月 (令和7年度新規事業)

【主な関係・連携機関】

・小泉八雲記念館 (松江市) ……資料借用

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料

※ただし、別途チケット料と入館料がかかります。

行って
みよう

小泉八雲熊本旧居 (体験施設)

【駐車場】

なし

※公共交通機関をご利用ください

【料金】

大人・高校生200円

小・中学生100円

未就学児 無料

【トイレ】

あり (男女別・多目的)

【所要時間】

30分程度



(熊本県提供)

八代城跡天守台石垣 プロジェクトンマッピング 八代市

(国史跡)
八代城跡群 八代城跡



地元の祭りにあわせて国史跡八代城跡の天守台を活用したプロジェクトンマッピングを行う取組。総踊り会場に面した石垣に八代工業高等学校が作製した八代の観光地や特産品、八代亜紀さん、八代の祭り等の映像を投影し、祭りを盛り上げました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

八代くま川祭り振興会（八代市観光振興課）

☎ 0965-33-4132

✉ kankou@city.yatsushiro.lg.jp

URL <https://www.kumagawa-fes.com/>

【県市町村の関わり】

協力（観光担当部局ほか）

【予算】

220千円

【財源】

単費・協賛金等

【工夫した点・配慮した点】

・石垣が台形で斜面への投影だったので、高校生がその形にあわせて映像を作成。

効果

- ・地元の高校生と協力ができた。
- ・祭り自体が盛り上がった。

課題

- ・石垣に投影するため、角度や形に合わせた映像作りが難しかった。
- ・準備期間が短かったため、高校生のみんなが分担して、映像を製作した。



(八代くま川祭り振興会提供)
プロジェクトンマッピング投影状況

【準備期間】

2ヶ月（企画・調整 2ヶ月、許認可 2ヶ月、設置・撤去 3日）

【実施期間】

2日間（令和7年度新規事業）

【主な関係・連携機関】

- ・熊本県立八代工業高等学校・・・映像作成
- ・八代市文化振興課・・・現状変更等許可
- ・八代宮・・・所有者
- ・八代くま川祭り振興会（シアター^{ゼロ}φ）・・・投影

【法令等に基づく手続き】

- ・現状変更許可（文化財保護法）
- ・屋外広告物許可申請（熊本県屋外広告物条例）

【参加費】

無料

行って
みよう

八代城跡（プロジェクトンマッピング実施施設）

【駐車場】

普通車23台、大型バス 要相談
※大型バスの駐車はお祭りでんでん館に問合せ
ください。（0965-37-8737）

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【料金】

無料

【所要時間】

平均1時間程度

【その他】

・続日本100名城スタンプ・御城印はお祭りでんでん館にあります（令和7年度現在）。
※施設開館時のみ対応

藤崎家住宅（赤松館）の開放

芦北町

(国登録有形文化財)
藤崎家住宅



明治時代に建てられた大地主の邸宅を土日祝日限定で一般公開する取組。このほか、いけばな展やサイレントオペラ等のイベントも開催されています。敷地内の米蔵では町のイベントに合わせて期間限定で百年伽哩を味わうことができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

赤松館保存会

☎ 0966-87-2866

【県市町村の関わり】

芦北加哩街道：協力（観光担当部局）
上記以外：その他（文化財担当部局他）

【予算】

200千円（芦北加哩街道）

【財源】

イベントにより変動

【工夫した点・配慮した点】

芦北加哩街道は芦北町出身の料理研究家江上トミ（故）の生家であり、江上氏がNHKの料理番組でカレーを家庭料理として初めて紹介したことが由来で、現在では町内以外の店舗も加盟し実施しています。

効果

- ・ イベントを楽しみに毎年来る人ができた。
- ・ これまでと違った客層が来るようになった。

課題

- ・ 江上氏のレシピの再現とアレンジレシピの開発。
- ・ 文化財としての維持管理。



(赤松館Instagramより引用)
アフタヌーンティーイベント等

【準備期間】

芦北カレー街道：3ヶ月程度（企画・広報・周知 3ヶ月程度）
その他イベント：イベントにより変動

【実施期間】

一般公開：通年（土日祝日限定）（平成21年度から継続して実施）
芦北カレー街道：1ヶ月半程度（土日祝日限定）（平成22年度から継続して実施）
その他イベント：不定期

【主な関係・連携機関】

・ 文化財所有者 ・ ・ ・ 芦北加哩街道参加（芦北加哩街道実行委員会主催）
※その他のイベントはイベントにより主催や場所提供のみの場合があります。

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

入館料 ※イベントによっては別途費用が発生する場合があります。

行って
みよう

藤崎家住宅（赤松館）

【駐車場】

普通車20台、大型バス2台

【料金】

大人 500円／中学生以下 無料

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【所要時間】

1時間程度

【その他】

・ 土日祝日のみ公開



(熊本県提供)

文化財講座

あさぎり町

(国重要文化財)
木造毘沙門天立像・木造二天王立像
／肥後国球磨郡免田才園古墳出土品
ほか



町の文化財や歴史を広く周知し、町民の文化的向上を目指すために毎年度テーマを決めて3回程度の講座や講演会を行う取組。座学だけでなく、銅鏡鑄造体験等外部の専門機関と連携した体験プログラムも行っています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

あさぎり町教育委員会教育課

☎ 0966-45-7226

✉ shakai-kyouiku@town.asagiri.lg.jp

URL <https://www.town.asagiri.lg.jp/list00018.html>

【县市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

357千円

【財源】

単費

【工夫した点／配慮した点】

- ・アンケートなどを行って参加者に興味を持ってもらえるようなテーマを設定。
- ・地元郷土史家や専門家など講師として幅広い人材を活用。



(あさぎり町提供)
文化財講座（座学）の様子

【準備期間】

3ヶ月（企画・調整2ヶ月、広報・周知・募集1ヶ月）

【実施期間】

1日（講座は令和3年度から、体験講座は令和5年度から継続して実施）

【主な関係・連携機関】

- ・熊本市熊本博物館・・・講座講師
- ・県内学芸員（テーマに沿って依頼）・・・講座講師

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

700円（体験講座のみ。講座は無料）

【その他】

- ・銅鏡鑄造体験は小学生3年生以下は保護者同伴が必要です。
- ・事前の申し込みが必要です（講座は当日の受付も可）。

効果

- ・これまで文化財や歴史に興味のなかった方が参加し、リピーターとなった。
- ・参加者による地域の魅力の再発見や気づきがあった。

課題

- ・参加者が固定していることから、新規の参加者を得ることが課題。

装飾古墳一斉公開

熊本県立装飾古墳館
玉名市・和水町・山鹿市・人吉市

(国史跡)
永安寺東古墳／大坊古墳
／塚坊主古墳／大村横穴群
(県史跡)
桜ノ上横穴墓群
ほか



例年、春と秋の年2回、県内に所在する装飾古墳を一斉公開する取組。専門職員等による解説を聞きながら、普段は見るできない石室の内部等を見学することができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

熊本県立装飾古墳館

☎ 0968-36-2151

✉ soushokukofun@pref.kumamoto.lg.jp

URL <https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/>



(熊本県立装飾古墳館提供)
装飾古墳一斉公開 (横山古墳)

【県市町村の関わり】

主催 (文化財担当部局)

【予算】

30千円

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

- ・装飾古墳への影響が少ない春と秋に開催。
- ・期間内にできるだけ多くの古墳を巡れるよう公開古墳の公開日・方法を検討。

効果

- ・県内外に熊本県の装飾古墳の魅力を発信・周知。
- ・装飾古墳公開に伴う温湿度データの取得 (装飾古墳の保護のためのデータ取得)。

課題

- ・装飾古墳の保存環境の維持。
- ・土・日曜日の開催に伴う、専門職員等の配置。
- ・駐車場の確保。

【準備期間】

4ヶ月 (企画・調整 2ヶ月、広報・周知 2ヶ月)

【実施期間】

年2回 (平成21年度から継続して実施)

【主な関係・連携機関】

・関係市町・・・主催・場の提供・当日解説

【法令等に基づく手続き】

・現状変更許可 (文化財保護法・県文化財保護条例)

【参加費】

無料

【その他】

- ・動きやすい服装で熱中症、虫よけ対策等を行い参加してください。
- ・公開日・公開方法は公開する装飾古墳によって異なります。
- ・公開装飾古墳は開催回によって変更になる場合があります。

行ってみよう

- ①永安寺東古墳、②大坊古墳、③塚坊主古墳、④大村横穴群、
⑤桜ノ上横穴墓群 ⑥横山古墳 (令和7年度秋公開装飾古墳)

【駐車場】

- ①普通車10台／大型バス 要相談
(玉名市文化課☎0968-75-1136)
- ③普通車120台／大型バス 要相談
(肥後古代の森菊水地区)
- ④普通車5台／大型バス 要相談
(人吉市文化課☎0966-22-2324)
- ⑥普通車50台／大型バス 要相談
(熊本県立装飾古墳館☎0968-36-2151)

②⑤なし

【料金】

①～⑥ 無料

【トイレ】

- ③ あり (男女別・多目的)
(肥後古代の森菊水地区)
- ④ あり (男女同)
- ⑥ あり (男女別・多目的)
- ①②⑤ なし

【所要時間】

①～⑥ 30分程度

鞠智城スケッチ大会

歴史公園鞠智城・温故創生館

(国史跡)
鞠智城跡



大人も子どもも自由な感性で鞠智城を見つめ、印象に残った風景を思い思いに描く取組。応募作品は、外部の専門家による審査・講評が行われ、優秀作品は温故創生館や県庁などで展示されます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

歴史公園鞠智城・温故創生館

☎ 0968-48-3178

✉ onkosousei@pref.kumamoto.lg.jp

URL <https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/kikuchijo/>

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

20千円

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

- ・外部による客観性を持たせた審査と表彰式での講評の実施による参加者満足度の向上。
- ・受賞作の作品展を開催することで広く鞠智城を周知。

効果

- ・鞠智城へ訪れる機会の創出。
- ・スケッチが鞠智城跡をもっと知るきっかけとなり、文化財が身近なものと感じてもらうことができた。

課題

- ・天候に左右されやすいイベントのため開催期間を延長するなど工夫した
- ・急遽参加された方への用具の貸し出し準備が不十分だった。



(歴史公園鞠智城・温故創生館提供)
第10回フォトコンテスト 特別賞「家族の休日」河本泉さん

【準備期間】

2ヶ月（企画・調整 1ヶ月、広報・周知 2ヶ月）

【実施期間】

・例年ゴールデンウィーク期間中（平成14年度から継続して実施）

【主な関係・連携機関】

- ・県立美術館 …… 選考
- ・県立装飾古墳館 …… 作品展示
- ・関係市町村 …… 作品展示

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料

【その他】

- ・審査を近代絵画専門の学芸員に依頼することで高いレベルの作品を安定的に選考できるようになりました。
- ・表彰式において審査員から講評を行うことで受賞者の満足度も高く好評を得ています。
- ・鞠智城跡で家族で一日かけて、のんびり過ごされる方が多くなりました。
- ・令和5年度からはゴールデンウィーク期間中参加できなかった方々のため、締め切りを1週間延長し開催しています。

行って
みよう

歴史公園鞠智城・温故創生館（開催施設）

【駐車場】

普通車70台／大型バス5台

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【料金】

無料

【所要時間】

熊本県庁から車で1時間程度
熊本電鉄菊池プラザ駅から徒歩40分

【その他】

- ・続日本100名城スタンプ・御城印は温故創生館にあります。※施設開館時のみ対応

西南戦争マンガの作成・頒布

玉東町

(国史跡)
西南戦争遺跡



西南戦争遺跡を周知する漫画を作成し、有料で頒布する取組。漫画の続きは、西南戦争遺跡を構成する各遺跡に設置されているQRコード読み込むと各自のデバイスで読むことができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

玉東町教育委員会社会教育課

☎ 0968-85-3609

✉ syakai-k@town.gyokuto.lg.jp

URL <https://seinansensou.jp/>

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

2,471千円（本編1,402千円・続編1,069千円）

【財源】

補助金（熊本県）

【工夫した点・配慮した点】

- ・小学生高学年以上を対象になじみのうすい近代の歴史をわかりやすく伝えるよう表現等を工夫。
- ・複数所在する遺跡を回遊してもらうため現地で読むことができる続編を制作。

効果

- ・子ども・若者世代に「知る」きっかけを提供できた。
- ・「続きが読みたい」という主体的な興味を引き出すことができた。

課題

- ・史実の正確性と物語性の両立が難しかった。
- ・制作に時間と労力がかかった。



(玉東町提供)
歴史漫画西南戦争—ふたりの隼人—

【準備期間】

各10か月（マンガ制作・企画調整 10ヶ月、続編マンガ制作・企画調整 10カ月）

【実施期間】

通年（平成29年度から継続して実施）

【主な関係・連携機関】

- ・マンガ家 マンガ制作
- ・玉名地域振興局 . . . 補助金交付

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（地域づくり夢チャレンジ推進補助金交付要項）

【購入費】

100円

※町内小中学校は無料配布

【その他】

- ・マンガの続編が読めるQRコードは、正念寺、二俣瓜生田砲台跡、半高山・吉次峠古戦場に設置しています
- ・マンガの周知啓発用の特大パネルを木葉駅前施設に常設しています。イベント時にも活用しています。

ほかに 世界文化遺産認定10年・明治日本の産業革命遺産が舞台の短編ミステリー小説

「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会では、令和7年の世界遺産登録10周年を記念して令和5年度から構成資産を舞台とした短編ミステリー小説12編を順次、制作・公開しています。熊本県関係では、三角西港を舞台とした『夏の三角の夢（友井 羊）』、万田坑を舞台とした『追憶の炭細工（蒼井 碧）』が公開されています。現在はミステリー小説を巡る旅も展開中です。

「明治日本の産業革命遺産」ミステリー小説

▶ <https://10anniversary-jmir.com/mysterynovels>



棚底城跡 史跡整備とガイダンス施設建設

天草市

(国史跡)
棚底城跡



史跡棚底城跡における遺構表示やサイン等の整備とガイダンス施設建設の取組。整備等を通じて中世城や天草一揆衆の歴史を分かりやすく学べる場をつくり、来訪者の増加及び市民や児童・生徒による活用、市域全域の文化財周遊を促進していきます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

天草市観光文化部文化課

☎ 0969-32-6784

✉ bunka@city.amakusa.lg.jp

URL <https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/list00038.html>



(天草市文化課提供)
棚底城跡と建設中の天草戦国ミュージアム

【県市町村の関わり】

主催（文化財担当部局）

【予算】

602,702千円（平成29年度～令和8年度）

【財源】

補助金（文化庁）

【工夫した点／配慮した点】

- ・史跡ではじめて樹木管理ガイドラインを策定し、支障木を定義して計画的に伐採。
- ・ガイダンス施設に市支所庁舎を併設することで、合併特例債を適用し財政負担を大幅に軽減。

効果

- ・工事関係者の家族等も来訪するようになった。
- ・Googleマップで口コミがつくようになった。
- ・住民の日常会話に棚底城跡という言葉が出るようになった。

課題

- ・史跡整備工事の前例がなかった。
- ・史跡指定地の相続人特定と用地交渉。
- ・事業の意義や整備工法の理解獲得。

【準備期間】

4年（保存管理計画策定2年、整備基本計画策定2年）

【実施期間】

10年（平成29年度～令和8年度整備事業実施）

【主な関係・連携機関】

- ・文化庁 ……補助金交付、現状変更等許可
- ・棚底地区振興会 ……史跡内の管理及び活用

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金）
- ・現状変更等許可（文化財保護法）
- ・規制区域指定時における盛土工事届出（宅地造成及び特定盛土等規制法）
- ・一定の規模以上の土地の形質の変更届出（土壌汚染対策法）
- ・公共事業等景観形成指針適合協議（景観法・天草市景観条例）
- ・用地譲渡所得の特別控除（租税特別措置法）、収用証明書の交付（土地収用法）
- ・農業振興地域農用地区域除外（農業振興地域の整備に関する法律）、農地転用許可（農地法）
- ・道路・里道占用許可（道路法）

【参加費】

—

【その他】

- ・ガイダンス施設は、市倉岳支所庁舎及び倉岳図書館との複合施設。道の駅としても登録。

行って
みよう

天草戦国ミュージアム(ガイダンス施設)

【駐車場】

普通車40台/バス2台/身障者2台/バイク10台

【トイレ(24時間利用可)】

あり（男女別・多目的・親子）

【料金】

無料

【所要時間】

1時間程度

【その他】

- ・カフェスペースあり

※ガイダンス施設は令和8年11月開館予定

スマートフォン用 カメラスタンド設置 荒尾市

(世界文化遺産)
明治日本の産業革命遺産
(国史跡)
三井三池炭鉱跡 万田坑跡
ほか



史跡内のフォトスポットにスマートフォン用カメラスタンドを設置する取組。カメラスタンドを利用することで手軽に文化財を背景とした集合写真が撮影できます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

荒尾市 観光文化交流課 観光推進室

☎ 0968-63-1421

✉ kankou@city.arao.lg.jp

URL <https://www.city.arao.lg.jp/sangyo/kankou/>



(荒尾市提供)

万田坑設置のカメラスタンド

【県市町村の関わり】

主催（観光担当部局）

【予算】

285千円（※3施設分）

【財源】

単費

【工夫した点/配慮した点】

・令和3年度に作成した観光PR動画で紹介しているスポットを設置箇所に選定し、カメラスタンドにはモデルコースを紹介するウェブサイトへアクセスできる二次元コードを掲示。

効果

・撮影ポイントのアピールとなっている。

課題

・使用状況の把握が難しいこと。

【準備期間】

1年程度（企画・調整：1年、作成・印刷：1ヶ月）

【実施期間】

通年（令和4年度に設置）

【主な関係・連携機関】

・荒尾市観光文化交流課世界遺産・文化交流室・・・現状変更等許可
・熊本県文化課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・現状変更等許可

【法令等に基づく手続き】

・現状変更等許可（文化財保護法・熊本県文化財保護条例）

【使用料】

無料

【その他】

・カメラスタンドは、万田坑のほか宮崎兄弟の生家及び四山神社に設置されています。
・参考URL <https://www.city.arao.lg.jp/sangyo/kankou/7386.html>
（市HP「電子パンフレット「あらお日和」の完成に併せてカメラスタンドを設置しています」）



行ってみよう

万田坑（カメラスタンド設置施設）

【駐車場】

普通車72台/大型バス5台/中型バス3台

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

※史跡内にはありません。

【料金】

大人・大学生 410円/高校生 310円

/小・中学生 210円

【所要時間】

1時間程度

【その他】

・休館日月曜日（祝日の場合翌日）
・施設に関する問合せは万田坑ステーションまで（☎0968-57-9155）

龍ヶ岳ウォーク (キララ祭) 上天草市

(国名勝)
龍ヶ岳



名勝「龍ヶ岳」に登る健康ウォークを通じ龍ヶ岳町を広くPRするウォーキングイベントを開催する取組。景色と各エイドステーションで提供される地元食材を楽しみながら山頂のゴールを目指します。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

キララ祭実行委員会・キララ祭実行委員事務局
(上天草市商工会姫戸龍ヶ岳支所内)

☎ 0969-58-2166

✉ kirara.sunrisewalk@gmail.com

URL <https://www.facebook.com/kirarasai>



(提供；キララ祭実行委員会)
龍ヶ岳山頂での様子

【県市町村の関わり】

後援（観光担当部局）

【予算】

約1,500千円

【財源】

参加費、補助金（上天草市）、協賛金ほか

【工夫した点／配慮した点】

- ・名勝龍ヶ岳の景観を生かしたコース設定。
- ・エイドステーションでの地元食材の提供・給水、チェックポイント配置による安全配慮。
- ・中学生ボランティアの協力による受付・誘導・声かけ等安心して参加できる運営。

効果

- ・文化財の魅力発信
- ・地域PR・多世代交流促進
- ・地元食材によるおもてなし
- ・中学生等ボランティア参画

課題

- ・下山手段（バス等）の確保・案内
- ・案内表示（距離・道順等）の充実
- ・休憩・トイレ環境の整備

【準備期間】

5ヶ月（企画・調整 5ヶ月、広報・周知・募集 2ヶ月）

【実施期間】

1日（平成2年度から継続して年1回開催）

【主な関係・連携機関】

- ・上天草市商工会・・・窓口
- ・地元中学校・・・ボランティアスタッフ（受付・誘導・声かけ等）
- ・交通安全協会・・・交通整理
- ・地元事業者・・・エイド提供等
- ・上天草市・・・補助金交付、ボランティアスタッフ

【法令等に基づく手続き】

- ・道路使用許可（道路交通法）

【参加費】

大人 2,000円／中学生以下1,000円／未就学児 無料

【その他】

- ・登山ウォーク（片道約7kmの往復コース）
※ 事前申込者優先で、下山時マイクロバスに乗車可能
- ・コスプレでの参加も可能
- ・小中学生向け抽選（龍玉）、表彰式、抽選会、お菓子投げを実施
- ・臨時駐車場：旧大道中学校グラウンド

ほかにも

人生100年時代・健康づくりと文化財

歩くことは心血管疾患の発症リスクを低減するだけでなく、脂肪燃焼・肥満予防に役立ちます。歩いて地域の歴史的な建造物を巡ったり、山城を散策したりと文化財に触れながら心も体も元気になりましょう。

県内には文化財を巡るオルレやフットパス、ウォーキング大会等がたくさんあります。

まち歩きマップの作成

水俣市

(県史跡)
徳富蘇峰・蘆花生家
(市有形文化財)
源光寺薩摩部屋
ほか



明治・大正・昭和初期の雰囲気を残すまち並みで旧河道など往時の面影を探しながらまち歩きができる文化財マップを作成した取組。文化財の散策・見学を通じた周辺商店街への誘客も目指しています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

水俣市教育委員会教育課

☎ 0966-61-1639

✉ syogai@city.minamata.lg.jp

URL <https://www.city.minamata.lg.jp/list00101.html>

【県市町村の関わり】

主催 (文化財担当部局)

【予算】

68千円

【財源】

単費

【工夫した点・配慮した点】

- ・かつての河道位置を現地図で分かるようにしました。
- ・現在も見ることができる文化財等の写真は新しく撮影しました。

(水俣市教育委員会提供)
徳富蘇峰・蘆花生家 周辺まち歩きマップ



効果

- ・大学などの調査研究に生かされるようになった。
- ・マップに記載していない情報も得られるようになった。

課題

- ・実際に歩くためには、看板などのサインが不足しているため、今後整備予定である。

【準備期間】

6ヶ月 (企画・調査 4ヶ月、作成・印刷 1ヶ月、広報・周知 1ヶ月)

【実施期間】

通年 (令和6年度作成)

【主な関係・連携機関】

・水俣市教育課生涯学習室・・・施設所管 (徳富蘇峰・蘆花生家、水俣市立蘇峰記念館)

【法令等に基づく手続き】

—

【購入費】

無料

行って
みよう

①徳富蘇峰・蘆花生家、②水俣市立蘇峰記念館 (マップ設置施設)

【駐車場】

- ①自家用車2台/バスは要相談
 - ②水俣市役所駐車場/バスは要相談
- ※水俣市教育委員会教育課へ問合せ

【所要時間】

- ①40分程度
- ②30分程度

【料 金】

- ①②無料

【そ の 他】

・開館日・時間は市HPで確認してください

【トイレ】

- ①あり (男女別)
- ②あり (男女別)



(水俣市教育委員会提供)
徳富蘇峰・蘆花生家

御船LOVEクラブガイド養成講座

御船町

(県重要文化財)
八勢目鑑橋
(町史跡)
御船城跡
ほか



町の歴史・文化・風俗の学習と観光ガイド育成を目的としたガイド養成講座を年4回開催する取組。講座には、ガイドだけでなく、町内外問わずどなたでも参加ができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

観光ガイド 御船LOVEクラブ
(御船町観光交流センター)

☎ 096-282-4700

✉ ifunetown.tourismassociation@gmail.com

URL <https://www.mifune-kankou.jp/>



(御船町提供)
第3回講座「御船町の石橋」バスツアーの様子

【県市町村の関わり】

協力（観光担当部局）

【予算】

370千円

【財源】

年会費・補助金（御船町）

【工夫した点／配慮した点】

「甲斐宗運」や「西南の役」といった歴史的テーマから、町内の石橋巡りまで、各回で異なるテーマと現地視察を設定し、継続して参加したくなる魅力的なプログラム構成としました。

効果

- ・本年度は座学だけでなく、バスツアーや徒歩移動等現地を見て巡ること学びを深め、参加者も多かった。

課題

- ・講師陣・参加者の高齢化。

【準備期間】

5か月～9ヶ月（募集期間5か月～9か月（日程決定から各回開催まで））

【実施期間】

半日（年4回）

【主な関係・連携機関】

- ・一般社団法人 御船町観光協会 …… 講座・ガイド受付
- ・御船町商工観光課 …… 補助金交付

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料

【その他】

令和7年度実施内容

第1回：甲斐宗運と城山公園（現地）10月

第2回：西南の役と御船町（現地）11月

第3回：御船町の石橋（バスツアー）12月

第4回：東禅寺の歴史を学ぶ（現地）2月

日本遺産ガイド (中学生ボランティアガイド) 八代市

(市有形文化財)
鍛冶屋下橋
(市天然記念物)
白髪岳天然石橋
ほか



年間を通じて地元中学生が日本遺産の構成文化財を楽しく案内する取組。中学生たちは、地元の方々や行政の協力のもと総合学習の時間等を活用してめがね橋に関する学びを深め、ガイドを行っています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

東陽町住民自治協議会
(東陽まちづくり協議会)

☎ 0965-65-2210

✉ toyou-komisen@yatsushiro.jp

URL <https://www.instagram.com/toyomachikyou?igsh=aHp0OGJtN3RhcMn2>



(東陽中学校提供)
東陽中学校のボランティアガイド

【区市町村の関わり】

協力 (文化財担当部局・地域振興担当部局)

【予算】

150千円

【財源】

単費・補助金 (八代市・ユニフォーム代)

【工夫した点/配慮した点】

天草崎津の中学生ボランティアガイドとの交流を行う等、先進地の取組を参考にしています。

効果

- ・地域と中学生が主体的にボランティア活動を行うことで、自己肯定感やふるさとへの愛着、誇りを育むことができた。
- ・将来の担い手の育成ができた。

課題

- ・ガイド活動の経験の場。
- ・活動の財源確保。

【準備期間】

5ヶ月 (企画・調整 2ヶ月、広報・周知 1ヶ月、ガイド養成 4ヶ月) ※令和4年開始時

【実施期間】

50分・70分/回 ※6月から3月の毎月第2日曜日午前 (令和4年度から継続して実施)

【主な関係・連携機関】

- ・八代市立東陽中学校 ガイド派遣
- ・東陽町石匠館 ガイドのための助言
- ・八代市経済文化交流部文化振興課 ガイドのための学習支援
- ・八代市総務企画部東陽支所地域振興課 広報・周知・受付
- ・八代市日本遺産活用協議会 補助金・助成金交付

【法令等に基づく手続き】

—

【ガイド料】

無料

【その他】

- ・ガイドは事前予約制で申込み切は実施日前前週の金曜日です。
- ・1.2kmコース (50分) と2.2kmコース (70分) があります。
- ・ガイド料は無料ですが、石匠館を見学される場合は入館料が必要です。

行ってみよう

東陽町石匠館 (ガイド集合場所)

【駐車場】

自家用車15台/大型バス3台

【トイレ】

あり (男女別・多目的)

【料金】

大人310円/高校・大学生200円
/小・中学生100円

【所要時間】

30分～1時間程度

【その他】

- ・事前に予約があれば館長による展示案内可能

農村舞台で薪文楽

山都町

(県重要無形文化財)
清和文楽人形芝居
(国登録有形文化財)
大川阿蘇神社農村舞台



「薪文楽」は、往時の農村における芝居興行の様子を体感できるイベントです。かつて清和文楽の十八番とされた「絵本太功記」、「鎌倉三代記」などの時代物と呼ばれる演目を篝火に照らされた幻想的な雰囲気の中で鑑賞することができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

一般財団法人 清和文楽の里協会
道の駅 清和文楽邑 清和文楽館
☎ 0967-82-3001
✉ daihyo@seiwabunraku.com
URL https://seiwabunraku.com/

【県市町村の関わり】

名義後援 (山都町・山都町教育委員会)

【予算】

約 1,000千円

【財源】

収入は公演鑑賞料のみ

【工夫した点/配慮した点】

- ・会場設営は、往年のマダケによる棧敷を組むほか、舞台設営等もこれまでと変わらない方法で行うため、その方法などの継承や記録も試みしています。
- ・「十人重箱弁当」によるおもてなしや地元中学生による人形芝居をモチーフとした所作踊り披露など地域一体となった往時のまつりの様子を体感できる様、心掛けています。
- ・各棧敷を巡って「十人重箱弁当」の食べ方の作法など説明を行っています。



(一般財団法人清和文楽の里協会 提供)
薪文楽の公演風景 (「鎌倉三代記」)

効果

- ・往時の奉納芝居の再現することで地域との一体感の醸成する。
- ・清和文楽人形芝居の知名度の向上。
- ・登録有形文化財の有効活用。

課題

- ・会場設営等の準備に係る各種団体との調整、人員の確保。
- ・情報発信の拡大ツールの整備。
- ・旅行者との協力体制。 など

【準備期間】

3か月 (企画・調整1ヶ月、広報・周知・チケット販売3ヶ月)

【実施期間】

毎年10月上旬の1日 (平成5年頃から継続して実施)

【主な関係・連携機関】

- ・山都町・山都町教育委員会・名義後援
- ・清和中学校・所作踊り (人形芝居がモチーフ) 出演、準備協力
- ・大川阿蘇神社・会場の提供
- ・地元消防団・火災警戒
- ・清和文楽人形芝居保存会・出演

【法令等に基づく手続き】

- ・火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出 (上益城消防組合火災予防条例)

【参加費】

1名あたり 6,500円 (お弁当・お土産付き)

【その他】

- ・4月第3土曜日 (要確認) には、大川阿蘇神社の収穫祈願祭が開催され、農村舞台での人形芝居を観賞することができます。
- ・清和文楽館では、古典外題だけでなく、小泉八雲原作の「雪おんな」や尾田栄一郎の「ONE PIECE」などの新作も上演しています。

行って
みよう

大川阿蘇神社 (公演会場)

【駐車場】

道の駅清和文楽邑 駐車場を利用
自家用車110台/大型バス80台
大川阿蘇神社まで徒歩5分

【料 金】

無料

【トイレ】

あり (男女別・多目的)

【所要時間】

20分
(大川阿蘇神社の参拝並びに
農村舞台の見学の所要時間)

阿蘇の茅束づくり体験 (教育旅行向け体験学習プログラム) 阿蘇市

(ユネスコ無形文化遺産)
伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術(茅採取)
(国重要文化的景観)
阿蘇の文化的景観



阿蘇の伝統文化と草原保全につながる活動として、熊本県立大津高等学校の生徒が茅葺き屋根に利用するススキを刈り取り、束ねる作業を体験しました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

阿蘇草原保全活動センター

☎ 0967-32-4193

✉ gakusyukan@aso.ne.jp

URL <http://aso-sougencenter.jp/>



(阿蘇グリーンストック提供)
カヤ束づくり

【県市町村の関わり】

【予算】

20千円

【財源】

参加者負担

【工夫した点/配慮した点】

- ・移動にスクールバスを利用できたことで経費を軽減。
- ・事前に刈払い機で刈ったススキを集めて束ねられるようにすることで作業工程を削減。

効果

(体験者感想一部抜粋)

- ・鎌を使ったり色々な道具を使った牧野作業はとてもよい経験になった。
- ・想像していた何倍もきれいな景色を見た。
- ・草原に関わるボランティアをしたい

課題

- ・朝から雪が舞っていたが、風を避けられる場所を選定して行った。

トピック

SDGsや草原保全に関わる話と牧野(ぼくや)散策

牧野の方から草原の維持管理や野焼きの話聞き、環境省職員より草原を取り巻く状況や課題など、SDGsにも関わる話を聞き、生徒の身近な環境について考える機会となりました。

また、阿蘇五岳も有明海も臨められる牧野を散策し、雄大な景色を楽しむことができました。



(阿蘇市提供)

【準備期間】

3ヶ月(企画・調整 2ヶ月、広報・周知 1ヶ月)

【実施期間】

1日(令和6年度実績)

【主な関係・連携機関】

- ・熊本県立大津高等学校参加学校 体験
- ・車帰原野管理組合 場所の提供
- ・公益財団法人阿蘇グリーンストック 指導・事務局
- ・環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所 共催

【法令等に基づく手続き】

—

【参加費】

無料 ※バス借用代が不要となったため

【その他】

- ・実施(協力)熊本県立大津高等学校、車帰牧野組合、阿蘇草原再生協議会草原環境学習小委員会の協力のもと実施しました。

球磨拳世界大会

多良木町

(町無形民俗文化財)
球磨拳
(国登録有形文化財)
多良木町交流館石倉 (旧多良木町農
業会米倉庫)



球磨郡に古くから伝わるジャンケン遊びの”最強“を決める世界大会を開催する取組。大会を通じて「球磨拳」の保存と普及を一層進めると共に、地元の方も遠方の方も一緒にあった人と人の温かいつながりを感じることができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

多良木町伝統・伝承芸能保存団体連絡協議会

(事務局：多良木町企画観光課)

☎ 0966-42-1257

✉ kikaku@town.taragi.lg.jp

URL <https://www.kumaken-japan.com/>



(多良木町提供)

初心者の部の様子
老若男女問わず、球磨拳を通じて交流し笑い声が響く。

【県市町村の関わり】

事務局 (文化財・観光担当部局)

【予算】

600千円

【工夫した点/配慮した点】

- ・情報発信の強化 (WEB、SNS)。
- ・大会の機運醸成 (アプリを活用してのグループ分け等)。
- ・初心者でも参加しやすいルールづくり (初心者の部、団体の部の新設)。

効果

- ・メディアからの問合せ多数。
- ・町外からの参加者多数。
- ・小学生から100歳まで幅広い年代の参加あり。

課題

- ・スタッフの確保。
(想定を上回るメディアからの問い合わせ及び大会参加があった。)
- ・資金の確保。

【準備期間】

4ヶ月 (企画・調整1ヶ月、広報・周知2ヶ月、応募・受付 1ヶ月)

【実施期間】

1日 (平成24年度から継続して年1回開催)

【主な関係・連携機関】

- ・民間企業 地域活性化企業人として球磨拳振興に取り組む
- ・熊本県 補助金交付
- ・多良木町 補助金交付

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き (くまもと未来づくりスタートアップ補助金・多良木町)

【参加費】

1,000円

【その他】

- ・初心者の部、個人の部、団体の部があります。
- ・団体の部が2025年大会から新設されました。

行ってみよう

国登録有形文化財・多良木町交流館石倉 (大会会場)

【駐車場】

自家用車70台/大型バス 要相談

【トイレ】

あり (男女別)

【料 金】

午前 (8時30分~12時) 1,140円

午後 (12時~17時) 1,140円

夜間 (17時~22時) 1,140円

【その他】

- ・貸会場としての利用が可能です。
- ・多良木町企画観光課 (☎0966-42-1257) へお問合せください。



(多良木町提供)

楽しむ能「楽」プロジェクト！ 熊本城 能楽特別公演 熊本市

(国特別史跡)
熊本城跡



熊本城天守閣前広場を会場に「楽しむ能『楽』プロジェクト！熊本城 能楽特別公演」を開催する取組。ライトアップされた天守閣の前で、加藤清正とゆかりのある演目である能「猿（えびら）」のほか、能「葵上」、狂言「秋大名」を実施しました。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

公益社団法人 能楽協会

☎ 03-5925-3871

URL <https://www.nohgaku.or.jp/>

【県市町村の関わり】

後援（文化担当部局）

【財源】

補助金（文化庁文化芸術振興費補助金）

助成（独立行政法人日本芸術文化振興会）

【工夫した点／配慮した点】

- ・文化財の保護を前提としながら、熊本城と能楽公演の双方の魅力が高まるような内容となるよう、能楽協会と熊本市が協議を重ねながら事業実施に向けて取り組みました。



(公益社団法人能楽協会提供)
能「葵上」上演の様子

効果

- ・熊本城は能楽とのゆかりも深く、歴史的にも意義ある舞台となった。
- ・熊本城の新たな魅力を創出する機会となった。

課題

- ・屋外のため天候や気温が心配だった。
- ・設営に使える時間が限られていた。
- ・会場の天守閣前広場と受付の券売所が離れていたため連携が難しかった。

【準備期間】

7ヶ月（企画・調整3ヶ月、許認可手続き2ヶ月、広報・周知2ヶ月）

【実施期間】

2日間／各日夜間1公演（令和7年度実績）

【主な関係・連携機関】

- ・熊本市 会場の提供・会場使用に関する許諾
- ・文化庁 補助金交付
- ・独立行政法人日本芸術文化振興会 助成金交付

【法令等に基づく手続き】

- ・現状変更等許可（文化財保護法）
- ・熊本城使用許可（熊本市都市公園条例、熊本城公園における催事開催に係る許可基準要綱）

【観覧料】

5,000円

ほかにも

熊本城で民間イベント開催

令和7年4月から天守閣前広場や天守閣内など城内5ヶ所で民間イベントを開催することができるようになりました。会場使用の可否は熊本城催事審査会議で審査され、イベントに伴う市の収益は熊本城の維持・管理等の財源に充てられます。

詳しくはこちら ▶ <https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363249/index.html>
問 合 せ ▶ 熊本城総合事務所総務管理課（☎096-352-5900）



ちょ～いい
ましき朝飯トレイル
朝来山そして飯田山を駆け抜けろ♪
益城町

(国天然記念物)
布田川断層帯



布田川断層帯（谷川地区）をスタート・ゴールに朝来山から飯田山を駆け抜けるトレイルランニングを開催する取組。ランニングを通じて町の歴史や地域の魅力を知ってもらうことが目的です。競走ではなく共走しながら町内の文化財で地震のエネルギーを感じてもらい個々の防災につなげてもらうことを目指しています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

飯田山トレイル実行委員会

☎ 090-9475-4774

✉ mashiki.idyt@gmail.com

URL <https://tanido.wixsite.com/iidasan-trail>



(飯田山トレイル実行委員会提供)
谷川展望広場を駆けける参加者

【県市町村の関わり】

協力（文化財担当部局）

【予算】

町単費としての予算無

【財源】

補助金（益城町）

【工夫した点／配慮した点】

- ・地元住民、区長のみならず町長、副町長も参加
- ・益城町の震災遺構をめぐるウォーキングを同時開催（記憶の継承WG）
- ・防災冊子を作成して大会で防災講座の実施

効果

- ・情報発信や運営に係る団体ができ、文化財の活用に関わる裾野の拡大に繋がった。
- ・布田川断層帯を起点としたことで付近に所在する他の文化財を含めた活用が可能となり、文化財の面的な活用・周遊性の向上に繋がった。

課題

- ・選手、スタッフ、応援者、住民全員が楽しめる大会の開催。
- ・参加枠がすぐに埋まってしまう。
- ・後夜祭への地元の皆様の参加。
- ・海外への発信。

【準備期間】

5ヶ月（企画・調整 2ヶ月、広報・周知 1ヶ月、募集・受付 2ヶ月）

【実施期間】

年1回（令和6年から継続して開催）

【主な関係・連携機関】

- ・益城町産業振興課 補助金交付
- ・益城町教育委員会 大会運営、会場および資材貸出協力
- ・益城町陸上競技協会 大会運営協力
- ・熊本国際空港株式会社 大会協賛協力
- ・御船警察署 道路使用許可
- ・熊本市消防局益城西原消防署 緊急搬送届出
- ・地域住民 エイド運営協力、当日トレイルラン参加、公民館貸出、盛大な応援

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（益城町にぎわい活性化補助金条例）
- ・傷害保険
- ・食品衛生責任者（食品衛生法）
- ・道路使用許可（道路交通法）
- ・消防署への緊急時への搬送依頼届出（熊本市消防局益城西原消防署）

【参加費】

3,000円（ましき朝飯トレイル）1,000円（ましき朝ど飯ウォーキング）
3,000円（ましき朝飯トレイル後夜祭）

【その他】

- ・対象は高校生以上でハーフマラソン完走者
- ・未成年者は保護者の承諾が必要
- ・大震災を経験した益城の自然や文化財を活用し、個人の防災意識を高める大会大会
- ・砥川の古民家（河端家住宅）をエイドに設定
- ・常楽寺（町指定史跡）をルート内に設定
- ・トレイルのほかにも自衛隊救護車両展示、後夜祭での益城秋祭り花火鑑賞も実施

宇土の雨乞い大太鼓 ガイド付演奏体験とオリジナルパチづくり 宇土市

(国重要有形民俗文化財)
宇土の雨乞い大太鼓



インバウンド客を対象に宇土の雨乞い大太鼓を素材とした観光コンテンツを開発・販売する取組。コンテンツは、ウェルカムパフォーマンスから始まり、歴史学習やオリジナルパチづくり、参加者による演奏体験が楽しめます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

宇土市・宇土市観光物産協会（コンテンツ造成）

☎ 0964-27-3329

✉ syoukou03@city.uto.lg.jp

URL <https://city-uto.com/>

【県市町村の関わり】

その他（観光担当部局）

【予算】

13,743千円（コンテンツ造成：6,000千円・コンテンツPR・販売：7,743千円）

【財源】

補助金（観光庁）

【工夫した点／配慮した点】

- ・コンテンツ造成にあたってはモニターツアーを実施し、参加者の声をもとに内容の改善を行いました。

効果

- ・特に外国人旅行客の誘客促進が図られた。

課題

- ・造成したコンテンツのPRを進め、認知度を向上させることが必要。



（宇土市提供）
観光コンテンツ造成のためモニターツアーを実施

【準備期間】

約2年（企画・発注6ヶ月、コンテンツ造成12ヶ月、広報・周知7ヶ月）

※ 観光コンテンツ造成を令和6年度・7年度（一部関連）、PR・販売を令和7年度に実施

【実施期間】

通年（体験時間90分） ※ 毎週月曜日・12/8～1/6・8/12～18・10月後半以外の日

【主な関係・連携機関】

- ・宇土市・宇土市観光物産協会・・・観光コンテンツの造成・販売・PR
- ・民間業者・・・観光コンテンツの実施
- ・宇土市大太鼓収蔵館・・・体験する場の提供

【法令等に基づく手続き】

- ・補助金手続き（地域観光新発見事業・地域観光魅力向上事業）

【ツアー料金】

大人：1人あたり16,500円（税込み）／子ども：1人あたり11,000円（税込み）

【その他】

- ・体験時間は90分です
- ・体験については太鼓芸能集団 紬衣にお問い合わせください
（☎080-8582-2982 / ✉daisuke@utotaiko.net / URL <https://www.utotaiko.net/>）
- ・別途、宇土の雨乞い大太鼓の演奏鑑賞プランもあります

行って
みよう

宇土市大太鼓収蔵館（体験施設）

【駐車場】

自家用車10台／大型バス 要相談

※大太鼓収蔵館（☎0964-22-1930）にお問い合わせ

合わせてください。

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【見学時間】

30分～1時間程度

【料 金】（入館料）

高校生以上200円

65歳以上・中学生以下は無料

【その他】

・毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始は休館です。

多言語音声ガイドシステムの公開

荒尾市

(県史跡)
宮崎兄弟の生家



宮崎兄弟の生家の施設を解説する音声ガイド（日本語・英語・中国語）を掲載するウェブサイトを構築・公開する取組。来訪者の見学スタイルに合わせて文化財の説明を聞くことができます。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

荒尾市 観光文化交流課 観光推進室

☎ 0968-63-1421

✉ kankou@city.arao.lg.jp

URL <https://www.city.arao.lg.jp/sangyo/kankou/>

【県市町村の関わり】

主催（観光担当部局）



(荒尾市提供)

荒尾市観光ガイドシステム

【予算】

1,767千円（制作費：1,595千円、年間保守料：172千円）

【財源】

単費（熊本地震復興基金活用）

【工夫した点/配慮した点】

- ・宮崎兄弟生家のほか、コストを最小限にするため、荒尾干潟の音声ガイドもまとめて掲載し「荒尾市観光ガイドシステム」として公開しています。

効果

- ・毎月レポートにて使用状況を確認することができる。

課題

- ・来館者閲覧促進のため、音声ガイドに気づいてもらう仕組みを改善していく必要がある。

【準備期間】

2年程度（企画・調整：不明、コンテンツ造成：2ヶ月）

【実施期間】

通年（令和7年度から常時公開）

【主な関係・連携機関】

施設所管

- ・荒尾市観光文化交流課世界遺産・文化交流室・・・施設所管（宮崎兄弟の生家）
- ・荒尾市環境保全課・・・・・・・・・・・・・・・・施設所管（荒尾干潟水鳥・湿地センター）

【法令等に基づく手続き】

—

【閲覧料】

- ※ただし、ガイド閲覧には、別途ポケット料金がかかります。

【その他】

- ・荒尾市観光ガイドシステムへのアクセスはこちら
(URL <https://www.smartguide.name/araocity-sg/index.cfm>)



行ってみよう

宮崎兄弟の生家（ガイド施設）

【駐車場】

普通車30台/大型バス2台/サイクルスタンド2台

【トイレ】

あり（男女別・多目的）

【料金】※敷地内庭園への入場は無料。

一般（高校生以上）210円/小・中学生 100円

【所要時間】

40分程度

【その他】

- ・休館日 月曜（祝日の場合翌日）
- ・施設に関する問合せ先
宮崎兄弟資料館（☎0968-63-2595）

山鹿・和水だけのオリジナルガチャ (オリジナルグッズ開発・販売) 山鹿市・和水町

(国史跡)
チブサン古墳／鍋田横穴群
／弁慶ヶ穴古墳
(国宝)
肥後江田船山古墳出土品



チブサン古墳や鍋田横穴に描かれた装飾文様や江田船山古墳から出土した鉄刀の銘文をモチーフにしたマスキングテープを製作し、カプセルトイで販売する取組。地域の文化財を素材に地元中学・高校生や有名人も一緒にまちを盛り上げています。

【実施主体・問合せ先】

自治体 民間

山鹿市文化課

☎ 0968-43-1651

✉ bunka@city.yamaga.kumamoto.jp

URL 菊池川流域日本遺産ホームページ

<https://www.kikuchigawa.jp/news/detail/460>



(山鹿市教育委員会提供)
オリジナルグッズ (サンダル、マスキングテープ)

【区市町村の関わり】

主催 (山鹿市文化財担当部局・和水町文化財担当部局)
※定住自立圏形成協定を締結する両市町の広域連携事業の一環

【予算】

490千円 (山鹿市) 411千円・(和水町) 79千円 ※令和7年度

【財源】

特別交付税措置及び各市町の一般財源 (総務省)

【工夫した点／配慮した点】

- 古墳をテーマにしたオリジナルグッズの開発及び販売により、地域の文化財を活用することで自治体の知名度向上を図りました。
- グッズの製作及び販売管理は観光協会へ委託しています。

効果

- 両自治体の中高生からグッズのアイデアを募集し、64件もの応募があった。入賞者への賞品 (クオカード 5,000円×6名) が功を奏したものの。

課題

- 販売開始の際は新聞で紹介されるなど話題に上がったが、時間が経つと売上げは減少傾向にある。

【準備期間】

1年 (プロポーザルによる業者選定2か月、企画・調整6ヶ月、アイデア募集1ヶ月、グッズ製作1ヶ月)

【実施期間】

令和10年度まで実施予定 (定住自立圏の事業期間)

【主な関係・連携機関】

- 地元中学生・高校生 ……グッズのアイデア提供 (公募)
- 一般社団法人山鹿温泉観光協会 ……事業の受託 (グッズの製作、ガチャの設置等)
- まりこふん氏 (古墳にコーファン協会会長) ……企画アドバイザー

【法令等に基づく手続き】

—

【購入費】

1回 500円

【その他】

- マスキングテープは3種類 (山鹿の装飾古墳の柄1種、江田船山古墳出土鉄刀モチーフ2種)。
- 地元の高校生が考案した「チブサンダル (チブサン古墳+サンダル)」は目玉です。

行って
みよう

①山鹿市立博物館・②道の駅きくすい菊水ロマン館 (ガチャ設置場所)

【駐車場】

- ①普通車50台／大型車 要相談
- ②普通車91台／大型車 6台

【トイレ】

- ①②あり (男女別・多目的)

【料金】

- ①大人270円／高校生以下70円
- ②—

【所要時間】

- ①40分程度
- ②—

【その他】

- チブサンダルへの引き換えは山鹿市立博物館で行っています。